

# 上下水道局長目標（令和6年度組織目標）

● 上下水道局長 仲 正之（なか まさゆき）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 上下水道局の仕事

上下水道局は、総務課、経営課、窓口サービス課、水道建設課、給水管理課、下水道整備課、下水道維持課の7課で構成され、良質な浄水を市民に安定的に提供すること、及び汚水の適切な処理と雨水の排除を主な仕事にしています。

● 上下水道局の目標

水道事業では安全で良質な水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、耐震補強工事を行う等、災害に強い水道づくりを進めていきます。下水道事業では、生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道施設の計画的な更新や耐震化を図ると共に、豪雨による内水被害の軽減策を進めます。また、所沢市水道事業経営計画等に基づき施策を行うことで経営基盤の強化、健全経営に努めていきます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	水の安定供給	安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した水道管を更新するとともに、配水池などの貯水施設を耐震補強するものです。	老朽化した水道管約8,000mを更新するとともに、基本計画による西部浄水場更新準備を進めます。	水道管7,940mを更新しました。西部浄水場更新基本計画に基づき、土地地権者との用地交渉を行いました。
2	第一次市街化調整区域下水道整備計画（第4期整備事業）	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、令和2年度から令和6年度の5年間で市街化調整区域の第4期整備事業区域内に汚水管を布設するものです。	対象地区の受益者負担金を徴収するとともに、汚水管約3,000mを布設します。	汚水管3,053m（令和6年度新規2,144m、令和5年度からの繰越909m）を布設しました。
3	雨天時浸水対策事業	下水道施設の老朽化等に伴う雨天時の汚水管への雨水の流入によって汚水の宅地内への逆流等の被害が多発していることから対策を行っていくものです。	管路調査を行い流入が明らかとなった地域について、対策を行っていきます。	雨天時浸水対策について、管内カメラ調査を5,680m実施、下水管620mを更生しました。
4	配水管クリーンアップ事業	良質な水道水を供給し続けるため、消火栓から強制的に水道水を排出して配水管の洗浄を行っていくものです。	市内を45ブロック中3ブロックの配水管洗浄を行います。	3ブロック実施地区 中富、下富、神米金、中新井、北原町、松郷、新郷、亀ヶ谷、狭山ヶ丘1・2丁目、和ヶ原1・2丁目 計35,455m